

研究に関する情報公開(オプトアウト)のお知らせ

北海道科学大学では、以下の研究を実施しています。本研究では、医療機関からメディカル・データ・ビジョン株式会社(MDV)に提供され、個人を特定できないよう匿名化された診療情報データ^{※1}を使用して解析を行います。

本研究で使用するデータには、氏名・住所・生年月日などの個人を特定できる情報は一切含まれておらず、研究者が特定の患者さんを識別することは原理的に不可能です。しかし、匿名化された診療情報が研究に利用される可能性があることをお知らせし、研究の透明性を保つとともに、患者さんの知る権利を確保するため、本研究に関する情報公開(オプトアウト)を行っています。

※1 全国の急性期病院が作成する入院診療記録を匿名化してまとめた医療データベースです。

研究課題名 (研究番号)	SGLT2 阻害薬が高齢心不全入院患者の1年以内再入院に及ぼす影響 DPC レセプトデータを用いた後ろ向きコホート研究
研究責任者	北海道科学大学 薬学部 薬学科臨床薬学部門 臨床薬剤学分野 准教授 樋浦一哉
試料・情報の利用目的 及び利用方法	完全匿名化された MDV 診療情報データを用いて、SGLT2 阻害薬の使用が心不全再入院リスクに与える影響を検討する。
使用し、又は提供する試料・情報の項目と取得方法	・年齢・性別・認知症日常生活自立度・介護度・意識レベル(JCS) ・心不全治療薬 ^{※2} ・糖尿病治療薬 ^{※2} ・主病名および傷病名(ICD-10) ・併存疾患に関する情報(ICD-10)・入退院日 ※2: 本邦で治療薬として適応を有する薬剤(添付ファイル参照)
調査データ該当期間 (利用する者の範囲)	2020年1月～2024年3月の医療機関診療情報(MDV データ)
個人情報の取り扱い	本研究で使用するデータは、医療機関においてあらかじめ匿名化加工が施されたのち、MDV を介して提供される匿名化診療情報データである。当該データには、氏名・住所・電話番号・生年月日などの個人を特定し得る情報は一切含まれておらず、研究者が特定の患者を識別することは原理的に不可能である。取得したデータは、本研究目的のみに使用し、外部への持ち出しや第三者への提供は行わない。 研究データは、大学内のネットワークから隔離した専用端末および外付けハードディスクに保管し、施錠可能な保管庫にて適切に管理する。研究成果の公表に際しても、個人を特定し得る情報が含まれることは原理的に起こり得ない。研究終了後は、規程に従い適切にデータを廃棄する。電子データはデータ消去ソフトまたは物理破壊により完全に削除し、紙媒体はシュレッダー処理・焼却などにより廃棄する。
本研究の資金源 (利益相反)	研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はない。
お問い合わせ先 (研究責任者)	北海道科学大学 薬学部 薬学科 臨床薬学部門 臨床薬剤学分野 准教授 樋浦 一哉 〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 e-mail: hiura-k@hus.ac.jp TEL: 011-676-8574